

令和5年度 地域情報化アドバイザー制度活用報告書

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	岐阜市役所	代表者名	柴橋 正直
担当者部署	行政部デジタル戦略課	連絡先電話番号	058-265-3909
担当者役職	主幹	担当者氏名	横山 竜一
住所	500-8701 岐阜県岐阜市司町40番地1		

1-2. 推薦団体（「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力）

2. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	村上 文洋
評価	大変よい
上記評価の理由（どのようなところがよかったか等詳細に）	行政を取り巻く環境から変化が必要な理由、またDXに取り組むための4つのポイントなど分かりやすく説明いただいた。また、外国の事例から基礎自治体の事例まで多くの事例を共有していただき、受講者も具体的なイメージを持ちながら受講することができた。 特に北見市の事例「DX=できるところから、業務改革」は、本市の今後のDXの切り口として参考にしていきたい。
アドバイザーへの要望事項	特になし

3. 地域情報化アドバイザー派遣実績

3-1. 対応日・時間	派遣日予定日（申請書より）	支援内容（申請書より）	期日・支援内容の変更あり	WEBでの手続き日	受付番号
	令和5年10月10日	講演(実地)	有	令和5年7月20日	792
	実施した派遣日	実施した支援内容	開始時刻	終了時刻	内休憩時間（分）
	令和5年10月10日	講演（実地）	10時00分	12時00分	
				活動時間（分）	120
3-2. 派遣場所	会場名	岐阜市役所	最寄駅	岐阜駅	
	所在地	岐阜市司町40番地1	最寄駅からの交通手段	路線バス	

4. 報告書に関しての地域情報化アドバイザーホームページ「派遣事例」への掲載許可

掲載許可	<input checked="" type="radio"/> 掲載可	https://www.r-ict-advisor.jp/cases-case-good-practices/past_year_all_houkoku/
------	--------------------------------------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

5. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

5-1. 支援を受けた対象者	属性（職員、一般、企業等）について【自由記述】	人数
	職員	80人
5-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果		
事業の課題・問題点（具体的にご記入下さい）	DXを推進していくうえでの環境（ツールなど）は整っているが、その取り組みには部署ごとに差があり、まだまだ自分ごと捉えて改革に向けて行動できる人材が育成できてない	
支援により目指す成果（具体的にご記入下さい）	職員がDXを自分ごとと捉え、変革に向け行動できる人材となる	
アドバイザーに支援を受けた内容（具体的にご記入下さい）	一般職員80名に対し、「行政DXの進め方」と題し、講演をいただいた。主な内容としては、行政を取り巻く環境、DXの定義、その進め方など。	
支援を受け改善又は解決された内容（具体的にご記入下さい）	DXは待ったなしであるという現状の認識と、DXは難しいことではなく、できるところから改善していけば良いということ、またDXを進めるうえでの4つのポイントなど、職員の意識改革につながったと思われる。	

具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	⑦その他
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 (具体的にご記入ください)	本研修によって、受講者に一定のマインドチェンジが見られた(別添アンケート結果のとおり)。今後は行動に移していけるか、マインドを継続させることができるか、事務局として引き続きフォローが必要。 特になし	
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。)アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 アンケート結果より、DXのイメージとして「業務が増えそう」「何から手をつけたら良いかわからない」という回答や、DXを進めるうえで重要なこととして「知識」「インフラ整備」と回答した職員が減少し、「DXは待ったなし」「常識や前例を疑う」といった回答が増加するなど、一定のマインドチェンジが図れたものと思われる。	
5-3. 今後の計画	最も当てはまるもののリストより選択下さい	①予算は確保済みであり、年度内に推進する
事業の最終的な目指す姿	研修はきっかけにすぎず、今回の研修で見られた職員のマインドが継続し、常に「職員がDXを自分ごとと捉え、変革に向け行動できる」ようになること。	

なおくその他>を選択した場合、具体的な記入が必要となりますのでご注意ください

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真(JPEG)」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。

